

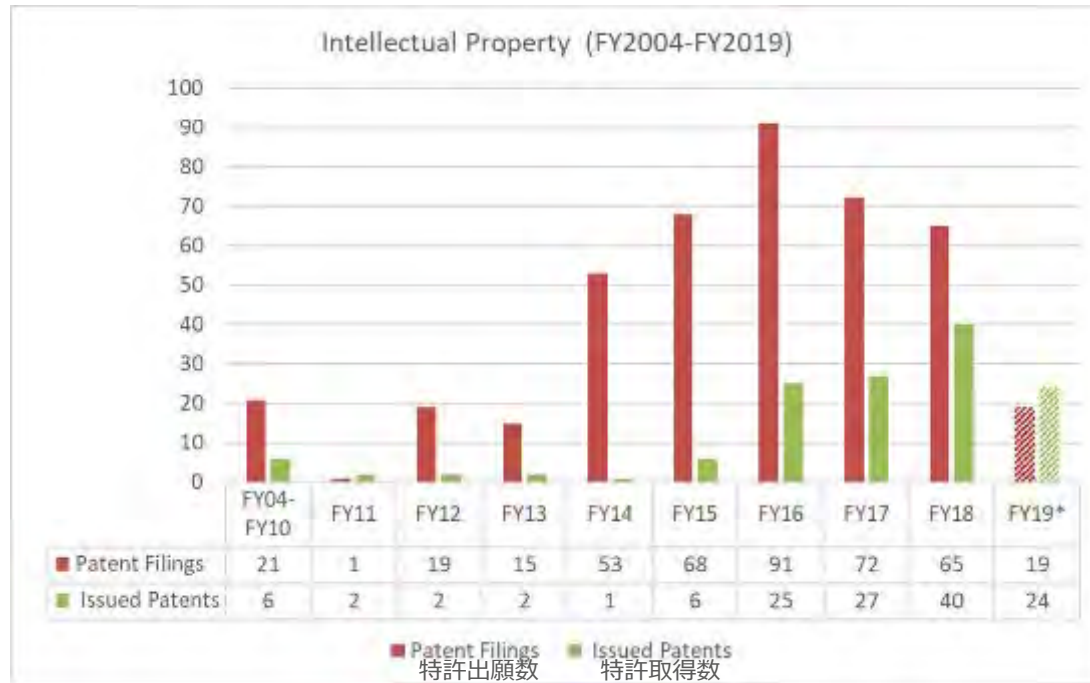
(項番は最終報告書に対応)

項目	ページ
4 沖縄の振興及び自立的発展への貢献に関する評価	52
・知的財産と研究	53
・共同研究	54
・共同研究・受託研究・特許の推移	55
・POC研究プログラム	56
・POCプロジェクト一覧	57
・スタートアップ・アクセラレータープログラム	58
・OIST発ベンチャー企業の事例 ①沖縄プロテイントモグラフィー(株)	59
・OIST発ベンチャー企業の事例 ②BioAlchemy(株)	60
・技術開発イノベーションセンターが獲得した外部資金	61
・技術開発イノベーションセンターにおけるミッション	62
・技術移転のライフサイクル	63
・技術開発イノベーションセンターの組織図	65
・インキュベーター施設の概要	66

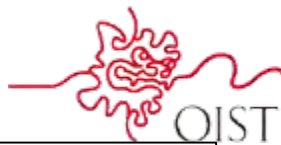
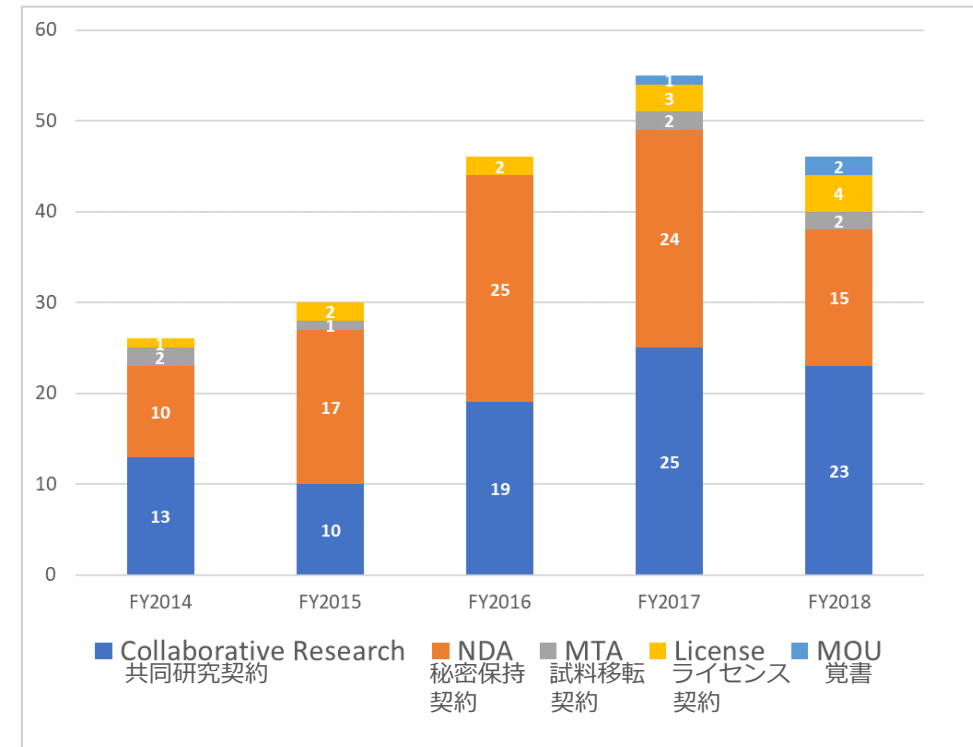
項目	ページ
5 広報、情報公開、その他法令遵守等に関する評価	67
・沖縄県民を対象としたOISTの認知度に関する調査	68
・OISTの地域連携例（学生向け啓発活動）	70
・OISTの地域連携例（環境保全）	73
・プレスリリースや記者会見等の開催にかかる取組	74
・監事及びCCOによる監査体制	75
・リスクマネジメント体制及び想定リスク	76
・男女比率	77
・女性参画状況	78

知的財産と研究

知的財産ポートフォリオ



研究に関する契約

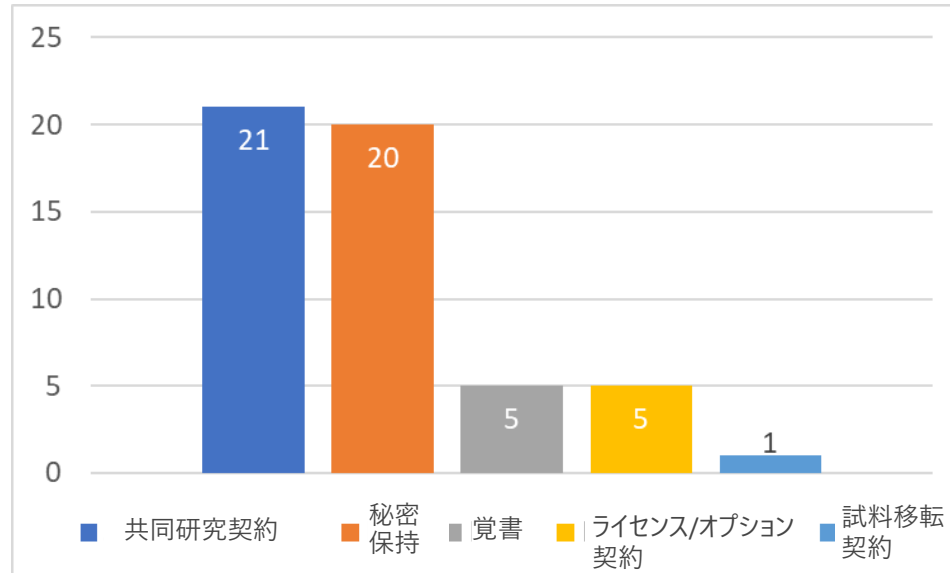




共同研究

企業との研究契約

計：52件（うち交渉中3件）



外部資金 (2020年11月現在)

調達額合計: 約9,000万円

(さらに大規模な追加資金について交渉中)

研究ユニット

銅谷
野村
佐藤
佐瀬
山本
横林
ドムナ
銅谷
銅谷
清光
小宮
久保
田中
チー
佐藤
佐藤
佐藤
シェン
TDIC

スポンサー

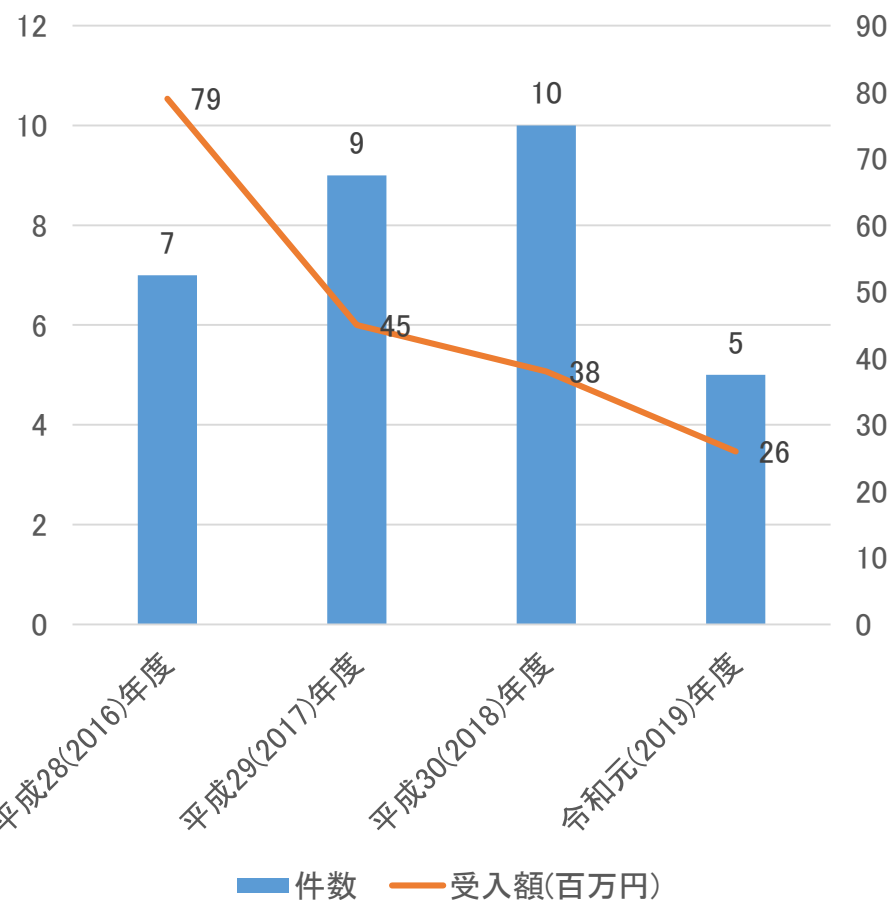
秘密
秘密
秘密
秘密
九州工業大学
秘密
住友財団
内藤記念科学振興財団
武田科学振興財団
HFSP
内藤記念科学振興財団
住友財団
秘密
JST
秘密
秘密
沖縄工業高等専門学校
沖縄県
沖縄県

TYPE

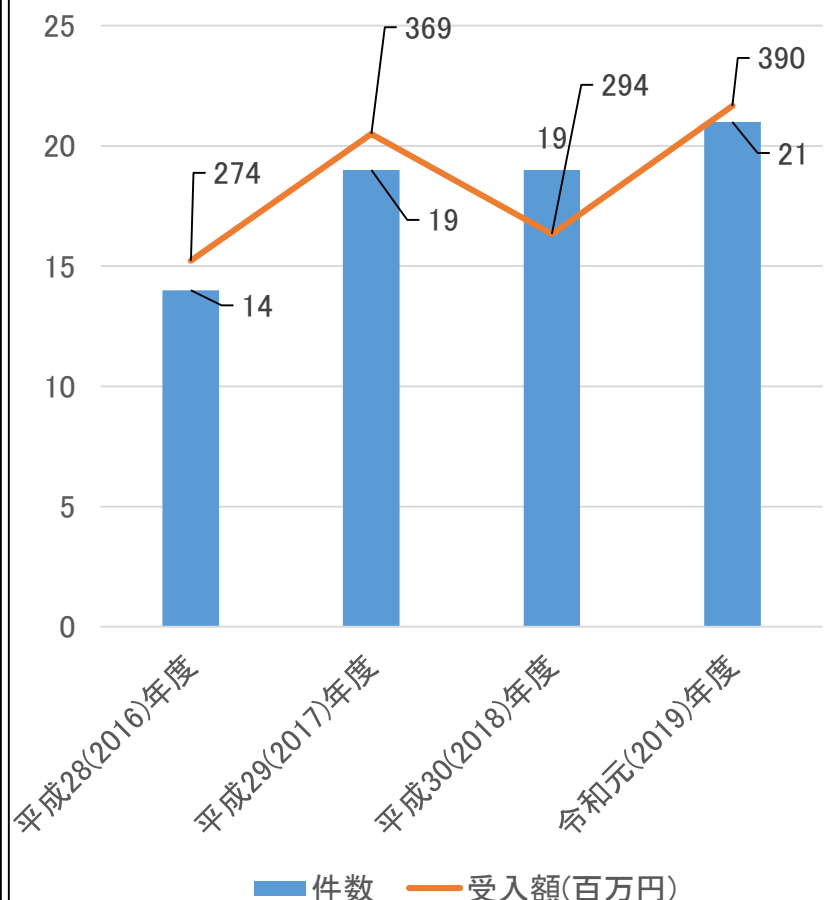
共同研究
共同研究
共同研究
共同研究
共同研究
共同研究
民間助成金
民間助成金
民間助成金
民間助成金
民間助成金
民間助成金
民間助成金
民間助成金
委託
委託
委託
委託
委託
委託

共同研究・受託研究・特許の推移

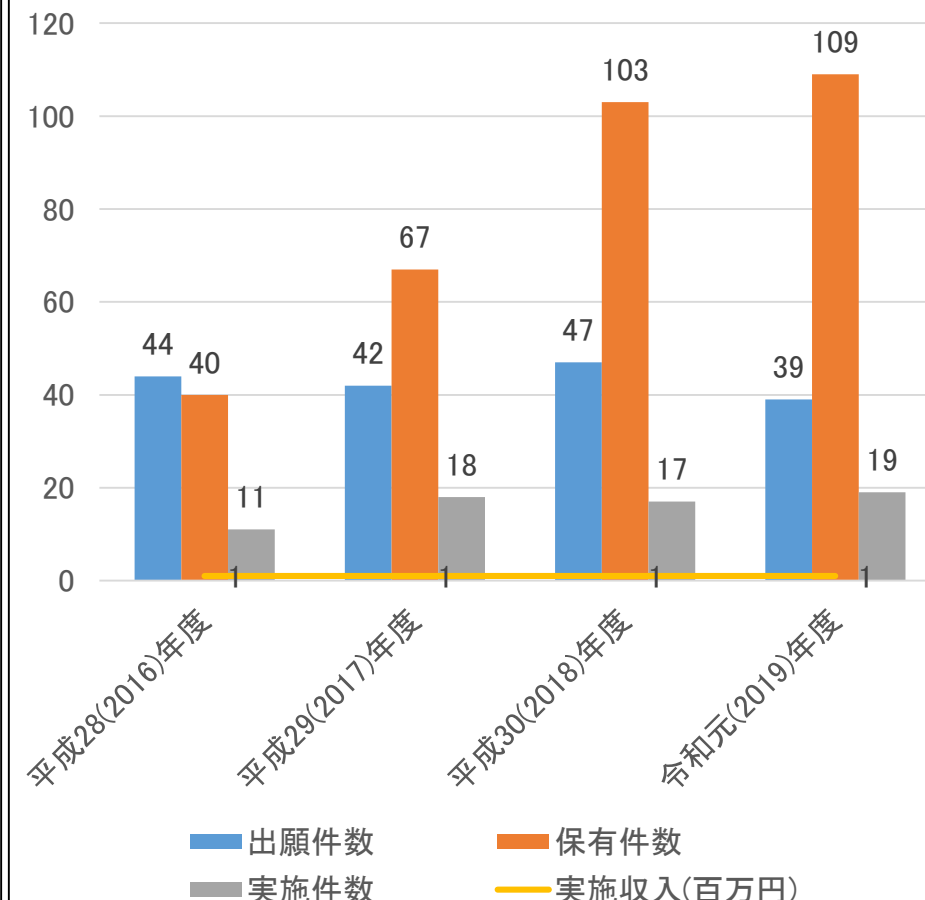
共同研究の推移



受託研究の推移



特許の推移



POC研究プログラム

要旨

OISTの技術開発活動は、研究活動から経済効果を触媒する目的で立案された。このプログラムにおいて、(1)イノベティブ・テクノロジー研究、(2) POC リサーチの2つでは、OISTの研究や特許技術の商業化を目的とした企業との共同研究や新たなベンチャー企業創出を促進する。また、若手研究者による特許技術の商業化や起業家育成を目的として、(3)テクノロジーパイオニア・フェローシップを新設。

POCイノベティブ・テクノロジー研究(ITR) 期間：3年以内

重要な技術的課題や社会的ニーズを明確に把握した上で課題を解決すべく、高度に革新的な研究を支援する

- 革新的な技術開発に注力
- 知識と実用性の両面を強化
- ハイインパクトのプロジェクト
- 新しい発明と新たな特許に繋がる技術

POC リサーチ(フェーズI、フェーズII) 期間：2年以内

実用化につながる特許技術を発展させるための研究

- 特許の市場価値を強化する
(TRL*に基づきフェーズ I か II に分ける)
- 目標に基づき、焦点を定めた実験
- フェーズ1: 実現可能性「果たして使えるか？」
- フェーズ2: 実用化「スケールアップ、性能の改良、低コスト化等」

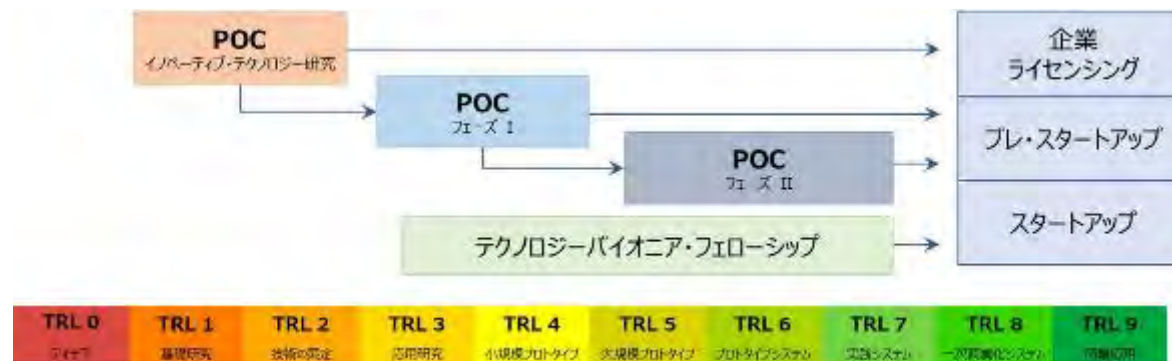
*TRL：技術成熟度レベル (1980年代にNASAが開発)

テクノロジーパイオニア・フェローシップ 期間：2年以内

テクノロジー起業家の育成を目的とし、技術を製品やサービスへと発展させるための研究を行う

- 研究段階のテクノロジーの商業化へのポテンシャルの追求
- 基礎研究者から応用研究者に転向するためのキャリアパス
- 4種類のゴール例：起業、民間企業への技術移転、民間企業との共同開発、民間企業への就職

POC (プルーフ・オブ・コンセプト) 研究



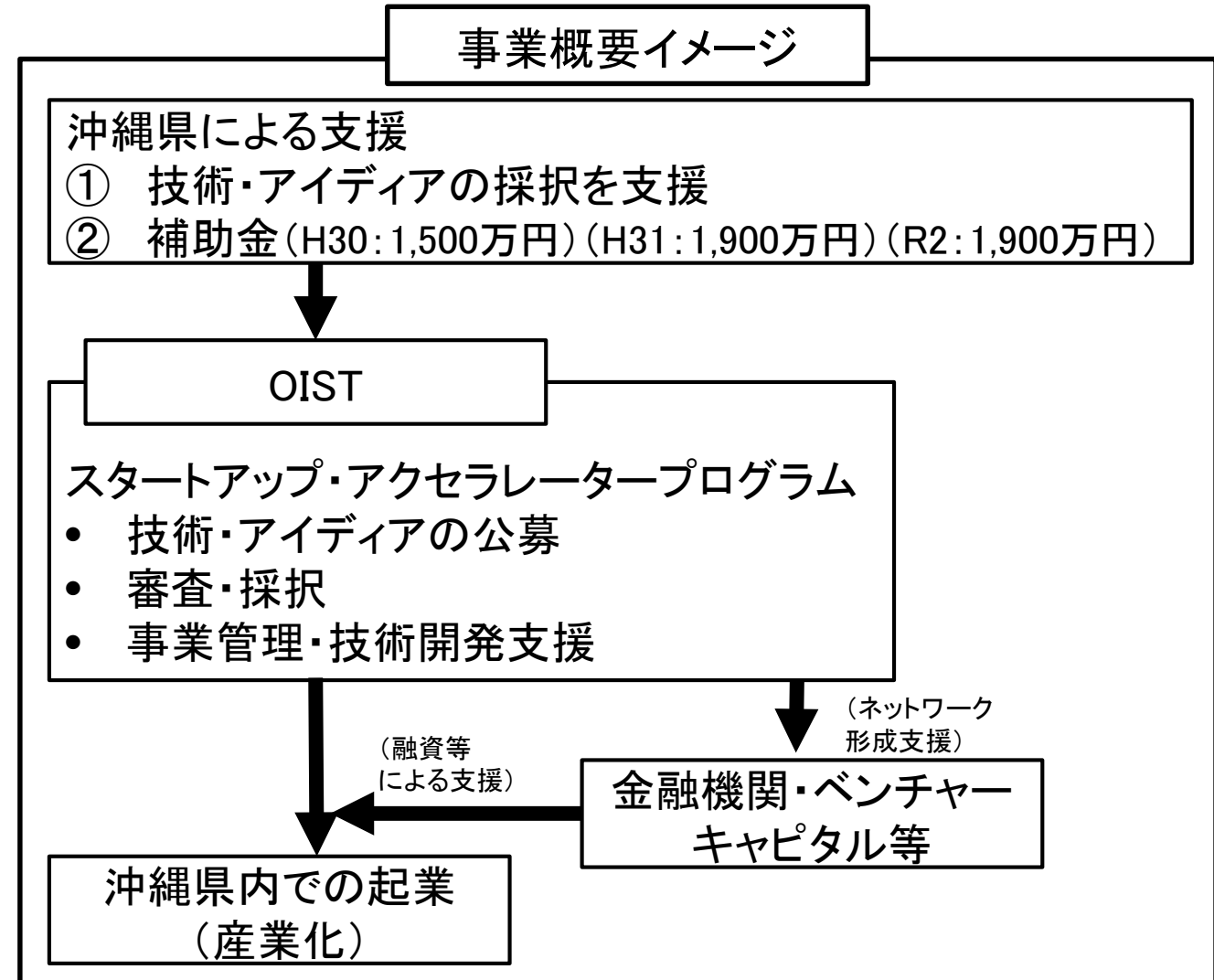
POCプロジェクト一覧

令和2年10月時点（敬称略）

	佐藤 矩行： サンゴ保全のためのオニヒトデ捕獲法の開発		ヤビン・チャー： 完全固形リチウムイオン電池の開発		イゴール・ゴリヤニン： エタノール生産に特化した微生物燃料電池を用いた排水処理法開発		イエ・ジャン： 癌治療のための選択的分子自己集合法の開発
	ゲイル・トリップ： ADHDの子供を持つ大人のための教育プログラムの開発		ケシャブ・ダニ： レーザー駆動マイクロプラズマを利用した極紫外線光源装置の開発		山本 雅： 沖縄型神経原性筋萎縮症の治療に向けたモデルマウス研究		柳田 充弘： 血中の低分子を用いた老化判定法の開発
	デニス・コンスタンチノフ： 量子コンピューターへの応用に向けたマイクロウェーブ増幅機開発		イゴール・ゴリヤニン： 微生物燃料電池を用いた有機排水処理のためのイオン交換膜の開発		新竹 積： ダクト付き波力発電コンバータの開発		ユージン・ハサキン： ルテニウムを触媒に用いた新規化学物質の効率的な合成法開発
	高橋 智幸： ヒトiPS細胞由来シナプスのプロテオミクス解析		佐瀬 英俊： OIST難消化米実用化のための臨床試験研究		デヴィット・シンプソン： 有機廃水処理を可能にするリアクター・モジュールの開発		ポール・サイ： 自動細胞分析のためのAIを搭載した卓上型顕微鏡開発

スタートアップ・アクセラレータープログラム

- 同プログラムは、世界中から起業家が沖縄に集まることを目的とし、国内外の市場のニーズに合った次世代ソリューションの開発を行うスタートアップや起業家を支援するプログラムです。このプログラムをとおして、科学技術によってイノベーションを起こす中心的役割を担う沖縄の可能性を引き出すものです。
- 採択チームは、沖縄県から資金面での支援を受けながら、プログラム期間を通してOISTが提供する世界的なメンター・ネットワークとの協働のもと、開発した製品を市場に出すことをめざします。
- 主な応募条件
 - 適格: Technology Readiness Level(欧州委員会が設定したテクノロジーの成熟レベルを示すもの)が3~6(初期の応用研究を開始したものからプロトタイプの実証実験を終えたもの)に該当する技術であること。
 - その他: OIST研究設備や事業化に関する専門家のアドバイス等の利用。



H30採択

- ・ショーディッチソン社 → H30.12設立 (栄養剤(サプリメント))

H31採択

- ・EF POLYMER社 → R2.3設立 (環境に優しい保水天然ポリマー)
- ・Medical Microwave Radiometry社 (医療用マイクロ波放射測定)

R2採択

- ・KANJUBOT社 (チャットボット)
- ・キャシャヤー・ミサギャン社 (高齢者の転倒予測ソフト)